



人と人をつないで育つ 地域づくり活動

安雲西交流会

安雲西交流会は、「地域との交流を通して地域社会を活性化すること」をテーマに掲げ、平成20年に地域づくり活動団体として認定されました。

- ① 地域のつながり強化活動(子供会、壮年会、自治会、営農組合)
- ② 地域の環境美化活動(清掃、花植栽)
- ③ 広報活動の充実(回覧、看板)

の三項目を重点的な活動内容とし、子どもや高齢者が参加する活動の充実と連携への取組みを行っています。

地域づくり活動を行おうと 思ったきっかけは

平成20年3月、上毛町において、見落とされがちな地域の身近な課題とその解決策(88プロジェクト)を掲げた「上毛町コミュニティ計画」が策定されました。この計画は、地域の方々が自ら課題を見つけ、作り上げられたものですが、作成作業に安雲西地区から3名で参加しました。この作業は、上毛町を旧村単位(南吉富、西吉富、唐原、友枝)に分け、地域を歩きながら、自分たちの目で地域の良さや課題などを見つけ、その後、ワークショップを開き、みんなで共有し、というプロジェクトがあれば、地域課題を解決できるのか洗い出していくというものでした。

「まち歩き」や「ワークショップ」に参加することを通じて、改めて、自分たちの地域の課題に気づくことができました。

安雲西には、元々自治会・子供会・壮年会などの個々の活動はありましたが、個々がそれぞれ活動しており、どういう活動がなされているのか情報が共有されてない状況でした。そこで、地域の子どもから高齢者までが交流・連携することを通じて、もっと住みやすい地域にしようという活動をスタートしました。

三項目を重点的な活動内容として

主な活動内容として、「地域のつながり強化活動」ですが、子供会では4月に歓迎会、夏休みのラジオ体操、クリスマス会、どんど焼き、

登下校時の見守りなどを行っています。これは地区の皆さんの顔を覚えてもらうため、壮年会などからも年齢を問わず、積極的に参加してもらっています。そうすることで、登下校時の見守りも、安心して行うことができます。他の地区では子供会がなくなったという話も多く聞きますが、安雲西では新たに転入したり、入学した子どもが、安心してすんなり地域にとけ込むことができるよう、地域が一体となって子供会活動を盛り上げます。

また、壮年会では5月に意見交換会、12月に1泊2日で総会を兼ねた研修旅行を行っています。今年度は原鶴温泉に泊まり、田主丸ワイン工場や柳川に行きました。普段じっくり話す機会がないので、地域について必要なことを見つめなおし、メンバー相互の連帯感を高めています。

次に「地域の環境美化活動」ですが、年2回、夏と冬にプランターに花を植え、通学路などに置いて水やりなどみんなで管理しています。また、子供会と壮年会は年2回、ゴミ拾いを行っています。壮年会では更に、町道の法面に防草シートを張っています。

環境美化活動を行うことで地域がきれいになることはもちろん、自分たちで植えた植物の成長を楽しみにしたり、ものを大切に作る、ゴミをすてないなど環境に敏感になる心を育てる効果もあると思います。

最後に「広報活動の充実」ですが、もっと活動を地区の皆さんに知ってもらい、参加して

もらうため、「上毛のいぶき」や、回覧を使ってお知らせしています。回覧の中には、安雲西交流会に対する要望やご意見を記入欄を設けていますので、なんでも声をかけてもらいたいと思います。また、子供会では、清掃活動や花の苗植え、登下校時の見守り活動の様子を描いた看板を作成し、通学路などに設置しています。

地域づくり活動を通して 人も地域も活性化

地域づくり活動をはじめ8年が経過し、嬉しいことに、それぞれの活動において皆さんが自主的にできるようになっていきました。活動のマンネリ化を防ぐための、いろいろなアイデアも生まれてきています。

地域活動が継続できるのは、自分たちだけの力だけではなく、上毛町や地域づくり協議会などの連携協力があったからだと思います。最近、安雲地区へ7世帯の転入がありまして。こうした方々が地区の環境などを見て「住みたい、住んで良かった」と思ってもらえるよう、これからはさらに地域の交流の機会を増やし、さまざまな年代の親睦を深めていきたいと思います。地域の方々が、地域づくり活動に参加することが一人ひとりの喜びとなり、もっと住みやすい、思いやりのある地域になることを願っています。

●問い合わせ先 代表 安元 輝巳さん
☎ 72・3490